

米に関するマンスリーレポート

新潟県版 令和元年6月

《今月の特集1》

既に提出した営農計画書の変更が、7月31日まで可能になりました。
ニーズのある加工用米等の取組拡大に向け、自らの生産計画をいま一度見直しましょう。

令和元年産米の作付意向（国公表）

用途		2月末時点	4月末時点	傾 向
主食用米	増加県	1	0	減少傾向の県が増えた
	減少県	6	15	
飼料用米	増加県	12	6	増加傾向の県が減り、 減少傾向の県が増えた
	減少県	12	28	
加工用米	増加県	15	12	減少傾向の県が増えた
	減少県	12	18	
米粉用米	増加県	13	18	減少傾向の県が増えた
	減少県	10	18	
備蓄米	増加県	20	30	増加傾向が増えた
	減少県	6	1	

国が公表した4月末時点の令和元年産米の作付意向においては、非主食用米が2月末時点に比べ減少傾向にあるようです。

こうした中、飼料用米、加工用米、米粉用米等は実需者から安定供給が求められていることから、国では、これらの用途の米の更なる推進を図るため、営農計画書、加工用米及び新規需要米の取組計画書の追加・変更を、7月31日まで受け付けることとしました。

実需者のニーズを踏まえ、非主食用米の国・県の支援策の最大限の活用を検討し、自らの生産計画をいま一度見直しましょう。

【事務手続きの流れ】



既に提出済みの「加工用米の取組計画認定申請書」、「新規需要米取組計画書」を提出し直す形で、追加・変更を申請。

※ 7月1日以降に、加工用米又は新規需要米に新たに取り組むとした場合も、申請可能。

1 加工用米取組計画認定申請書及び新規需要米取組計画書の追加・変更

「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」に定めるもの

書類	追加・変更時の提出期限
加工用米の取組計画認定申請書	7月31日
新規需要米取組計画書	7月31日

2 上記に伴うその他の期限

次の書類を提出している場合、または、7月1日までに提出しその後上記の追加や変更が生じた場合、下記期限まで変更が可能となります。

(1) 需給調整関係

「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」に定めるもの

書類	上記1に伴い、追加変更が生じた場合
区分管理計画書	7月31日
加工用米出荷契約	締結期限 7月31日
新規需要米出荷契約	締結期限 7月31日
加工用米出荷契約等数量農業者別一覧表	8月13日
加工用米団体間出荷計画数量報告書	9月2日
新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表	8月13日
新規需要米団体間出荷計画数量報告書	9月2日

「生産製造連携事業計画の認定等事務取扱要領」

書類	上記1に伴い、追加変更が生じた場合
新用途米穀の生産を行う生産者と水田の地番等の一覧	7月31日

(2) 経営所得安定対策関係

「経営所得安定対策等実施要綱」に定めるもの

書類	上記1に伴い、追加変更が生じた場合
経営所得安定対策等の交付申請書及び営農計画書	7月31日
要綱Ⅲの3の(1)の②に規定するそれ以外の者の分 (交付申請書)	9月2日
経営所得安定対策等交付金の対象作物の地域別作付 計画面積報告書	9月2日
水田活用の直接支払交付金における産地交付金の追 加配分対象面積について(関連資料含む)	9月2日

実需団体から国に対し、加工用米等の安定供給に向けて要請が出されています。

【全国加工米需要団体協議会】

「令和元年産加工用米等原料米の安定供給の確保について（要請）」（抜粋）

- （略）加工用米の結び付きの拡大が図られるよう、国におかれましても、各産地において需要のある加工用米について安定的に取引を推進することの重要性等について説明していただきますようお願いいたします。

【協同組合日本飼料工業会】

「国産飼料用米の安定供給について（要請）」（抜粋）

- 国産飼料用米の生産が維持・拡大され、今後とも畜産生産者・飼料メーカーが安心して飼料用米を継続利用できるよう、産地や稲作生産者に対して安定供給の重要性を説明するとともに、更なる積極的な取組を促すこと。
 - ・ 稲作生産者が安心して国産飼料用米に取り組めるよう国の支援を安定的に継続すること。
 - ・ 国産飼料用米の生産・利用が拡大するような支援策を拡充すること。

【日本米粉協会】

「米粉用米の安定供給の確保について（要請）」（抜粋）

- 先月公表された第2回中間的取組状況によれば、第1回公表時よりも米粉用米の取組を減らす産地が増加しており、このまま推移すると順調に増加している需要と生産量の乖離がさらに拡大し、米粉製造企業の経営に支障が生じかねない状況となっています。
- 国は産地に対して、米粉用米の安定取引の重要性等を説明するとともに、米粉用米の供給を安定的に行うために必要な生産者と米粉製造企業の結び付けを拡大するため、十分な推進期間を確保していただきますようお願いいたします。

【計画書の追加・変更に関するお問い合わせ先】

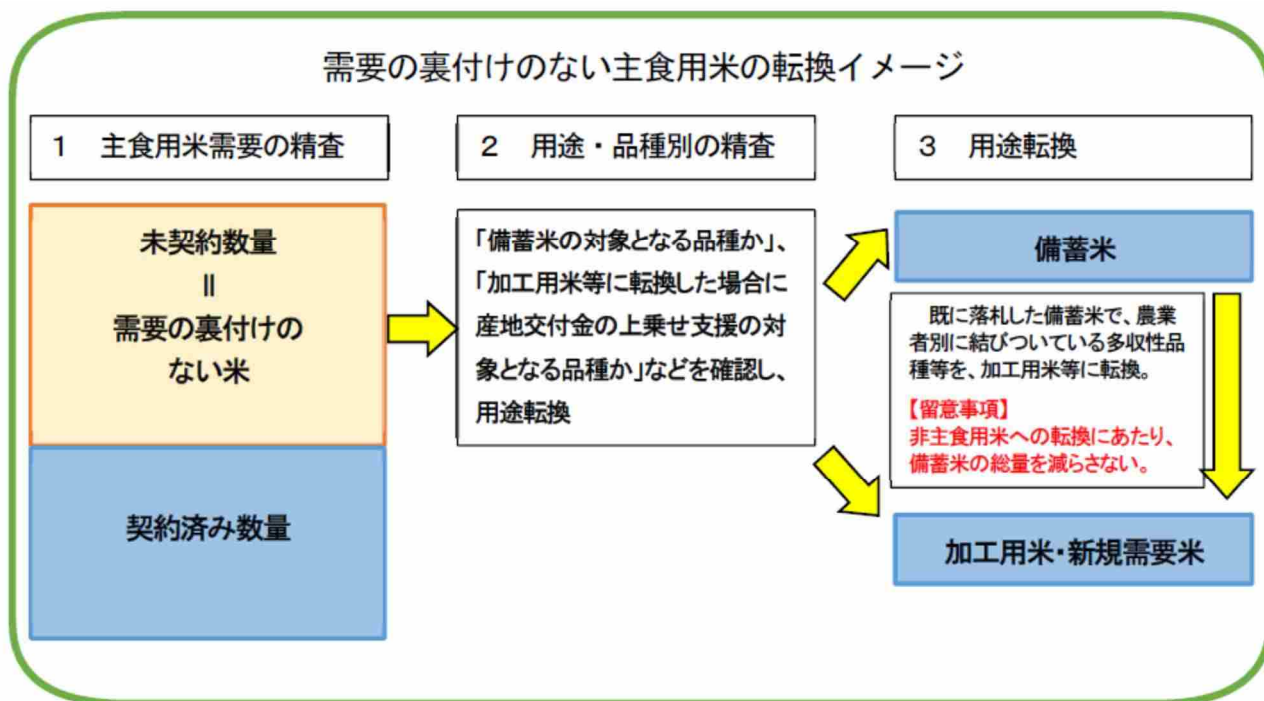
北陸農政局新潟県拠点 TEL 025-228-5281

《今月の特集 2》

需要の裏付けのない主食用米は、需要のある非主食用米に用途転換しましょう。

現在、県内の地域農業再生協議会は、認定方針作成者の集荷する米に対して需要の裏付けの精査を行い、新潟県農業再生協議会や北陸農政局新潟県拠点とともに、裏付けのない米の用途変更を推進しているところです。

5月号等でもお伝えしたとおり、前年並みの作付で、作柄が平年並みになった場合、翌6月末在庫は平成28年産を超える見込であり、米価下落のリスクを軽減するためにも備蓄米や加工用米などの非主食用米への転換を進めましょう。



《参考》

第2回中間的取組状況（平成31年4月末現在）について

国が公表した令和元年産米等の第2回中間的取組状況報告では、県内34地域農業再生協議会の前年産と比較した主食用米等の動向が示されました。

それによると、主食用米が前年より増加傾向の協議会は「10協議会」、前年並みの協議会は「24協議会」、減少傾向の協議会は「なし」となっています。（県全体では前年並みの傾向）

新潟県の令和元年産米等の中間的取組状況（平成31年4月末現在）

地域農業再生協議会	主食用米		備蓄米		戦略作物													
	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	飼料用米		加工用米		WCS		米粉用米		新潟県産米 (輸出用米等)		麦		大豆	
					30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	元年度の意向 (対前年実績)
関川村	940	→	-	-	31	↓	2	↑	-	-	14	↓	7	↓	-	-	3	↑
村上市	4,883	↑	54	↑	210	↓	229	↓	16	↓	100	↓	86	↓	8	↓	167	↓
新発田市	5,942	→	340	↑	264	↓	1,012	↓	57	↓	329	↓	107	↑	-	-	227	↓
阿賀野市	4,866	→	15	↑	124	↓	440	↑	13	↑	43	↑	9	↓	8	↑	185	↓
胎内市	2,363	→	-	↑	101	↓	80	↑	9	↑	321	↓	14	↑	42	↑	212	↓
聖籠町	713	→	119	↑	5	↓	39	↑	-	-	2	↓	39	↓	8	↓	155	↑
五泉市	3,462	→	2	↑	132	↓	411	↑	4	↓	4	↓	13	↓	1	↓	6	↓
阿賀町	518	→	-	-	-	-	59	↑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟市北区	3,280	→	76	↑	3	↓	411	↓	24	↓	20	↓	27	↓	2	↑	33	↑
新潟市亀田部	3,098	→	137	↑	14	↑	290	↓	-	-	107	↓	45	↓	2	↓	69	↑
新潟市秋葉区	2,547	→	21	↑	25	↑	484	↓	10	↓	0	↑	28	↓	9	↑	87	↑
新潟市南区	3,907	→	40	↑	124	↓	275	→	-	-	202	→	17	↓	3	→	365	→
新潟市西区	2,442	↑	1	↑	19	↓	209	↓	-	-	129	↓	62	↓	-	↑	-	↑
西蒲区	5,575	→	169	↑	136	↓	995	↓	-	-	13	↑	34	↑	8	↑	596	↓
弥彦村	635	→	17	↑	9	↓	76	↓	-	-	-	2	↑	5	↓	34	↓	
燕市	3,540	→	187	↑	129	↓	593	↓	2	→	4	→	42	↑	-	-	316	↑
田上町	552	→	56	↑	18	↓	32	↓	-	-	3	↓	1	↓	1	↑	42	↑
加茂市	1,184	→	19	↑	50	→	22	→	10	→	-	-	10	→	-	-	10	→
三条市	3,979	→	420	↑	164	→	113	→	7	→	4	→	18	→	2	→	259	↑
見附市	1,663	→	106	↑	27	↑	41	↓	1	↑	211	↓	6	↓	-	-	28	↓
出雲崎町	314	↑	-	-	3	↓	2	↓	-	-	-	-	-	-	1	↑	1	↑
小千谷市	1,873	↑	31	↓	2	↑	63	↓	8	↓	-	-	104	↓	0	↓	2	↑
長岡市	11,283	↑	388	↓	124	↓	855	↓	20	→	150	↓	65	↓	82	↓	852	↓
柏崎市	2,964	→	64	↑	224	↓	17	↑	-	-	8	↓	0	↑	0	↑	53	↑
刈羽村	393	↑	19	↑	34	↓	4	↓	-	-	-	-	1	↓	-	-	24	↑
魚沼市	2,436	↑	-	-	86	↓	32	↓	44	↓	2	↑	6	↓	-	-	1	↑
南魚沼市	4,699	→	-	-	4	↓	69	↓	-	-	9	↓	17	↓	-	-	12	↓
湯沢町	186	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	↑
津南町	1,449	→	-	-	2	↓	3	↑	-	-	0	↓	-	-	-	-	0	↑
十日町市	4,039	↑	-	-	67	↓	12	↓	-	-	1	↓	1	↓	-	-	7	↑
上越市	10,551	↑	5	↑	548	↓	730	↓	42	↓	223	↓	55	↓	-	-	492	↓
妙高市	1,588	→	-	-	9	↑	94	↑	-	-	21	↑	21	↑	-	-	30	↓
糸魚川市	1,417	↑	-	-	14	↑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	↑
佐渡市	5,107	↑	389	↓	206	↓	155	↓	119	↑	11	↓	28	↑	2	↑	40	↑

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「令和元年産の意向(対前年実績)」は、平成30年度作付実績と比較し、「↑」：増加傾向、「→」：前年並み傾向、「↓」：減少傾向で分類。
 (注2) 主食用米の「30年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積で、合計値は平成30年12月10日統計部公表の主食用作付面積と異なる場合がある。
 (注3) 備蓄米の「30年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積。
 (注4) 飼料用米、加工用米、WCS、米粉用米、新潟県産米(輸出用米等)の「30年産実績(ha)」は、平成30年度新規需要米の取組計画認定面積。麦・大豆の「30年産実績(ha)」は、地方農政局長が新潟県農業再生協議会等に関する取組計画認定面積で、二毛作を含む。

県全体の令和元年産米等の第2回中間的取組状況（平成31年4月末現在）

都道府県	主食用米		備蓄米		戦略作物									
	30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)	飼料用米		加工用米		WCS		米粉用米		新潟県産米 (輸出用米等)	
					30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)	30年産実績 (ha)	31年産の動向 (対前年実績)
新潟	104,700	→	2,677	↑	2,908	↓	7,851	↓	386	↓	1,932	↓	866	↓
全国	138.6万		21,606		79,535		51,490		42,545		5,295		3,578	

(注1) 主食用米、戦略作物及び備蓄米の「31年産の動向(対前年実績)」は、30年度作付実績と比較し、「↑」：増加傾向、「→」：前年並み傾向、「↓」：減少傾向で分類。
 (注2) 主食用米の「30年産実績(ha)」は、平成30年12月10日統計部公表の主食用作付面積。
 (注3) 飼料用米、加工用米、WCS、米粉用米、新潟県産米(輸出用米等)の「30年産実績(ha)」は、平成30年度新規需要米の取組計画認定面積。
 (注4) 備蓄米の「30年産実績(ha)」は、地域農業再生協議会が把握した面積。



新潟米の販売状況

概況

新潟米の販売状況は、昨年の作柄の影響による品薄感から、概ね順調に推移している。

販売比率

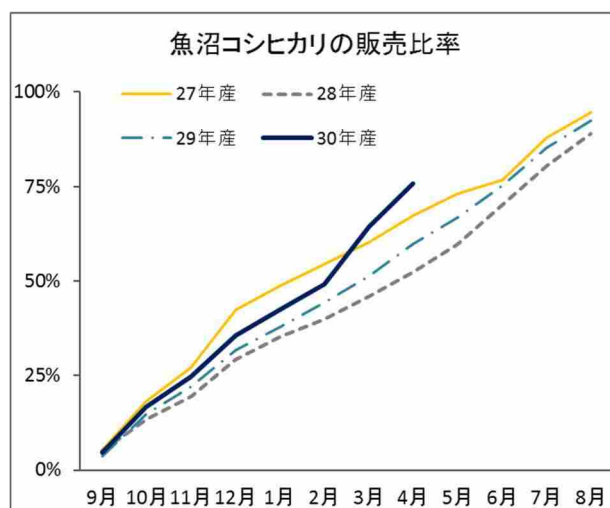
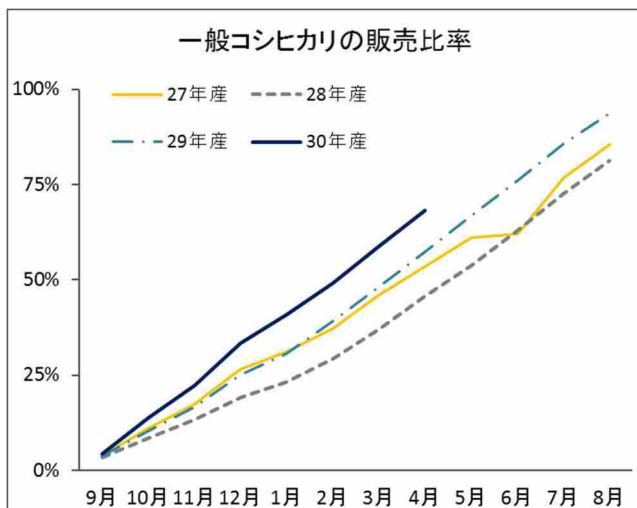
作柄不良等により、集荷量が減少したことから、これまでのところ全銘柄で販売比率（出荷進度）は7か月連続で前年及び前々年を上回っている。

(1) 一般コシヒカリ

4月の一般コシヒカリの販売比率は、前年比11ポイント増の68%となり、前年及び前々年を上回って推移している。

(2) 魚沼コシヒカリ

4月の魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比16ポイント増の76%となり、前年及び前々年を上回って推移している。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	3%	8%	13%	19%	23%	29%	37%	46%	54%	63%	72%	81%
	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	14%	22%	33%	41%	49%	59%	68%				
魚沼 コシヒカリ	28年産	5%	13%	20%	29%	35%	40%	46%	52%	60%	70%	80%	89%
	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	5%	17%	25%	36%	42%	49%	64%	76%				
岩船 コシヒカリ	28年産	4%	12%	18%	24%	30%	37%	46%	55%	63%	70%	80%	93%
	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%	45%	54%	66%				
佐渡 コシヒカリ	28年産	5%	15%	21%	28%	36%	45%	54%	60%	68%	75%	82%	89%
	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	53%	60%	68%				

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産は、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後、集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある



在庫状況

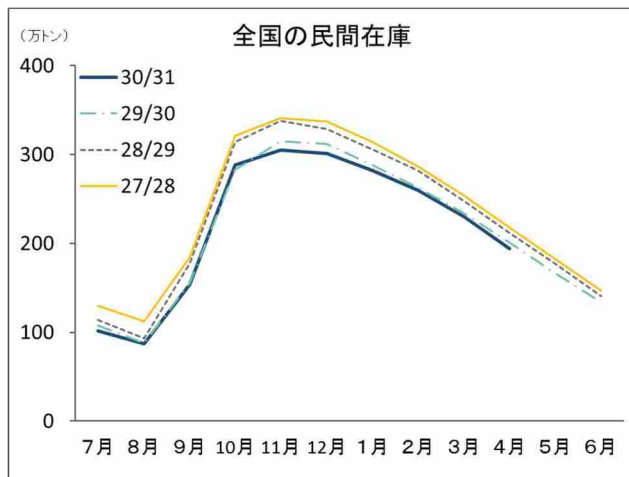
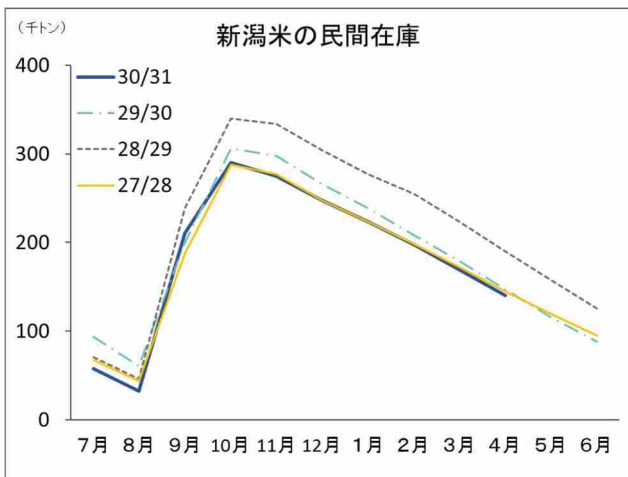
4月の新潟米の民間在庫は、昨年の作柄の影響で前年及び前々年を下回っている

(1)新潟米

4月の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比4.1%減の141千トンとなり、7カ月連続前年を下回った。

(2)全国

4月の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比3.5%減の194万トンとなり、6カ月連続前年を下回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	28/29	70	47	239	340	333	304	277	255	224	190	158	126
	28年産米	0	1	208	309	305	279	256	237	210	179	149	119
	1年古米(27年産)	67	43	28	29	27	23	20	17	13	10	8	6
	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6
米	30/31	58	32	210	290	275	248	224	198	170	141		
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219	194	167	138		
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1		
全国	28/29	114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
	28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
	1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4
米	30/31	102	87	154	288	305	301	282	260	230	194		
	30年産米	1	18	106	249	275	278	264	245	219	185		
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16	12	9	7		

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

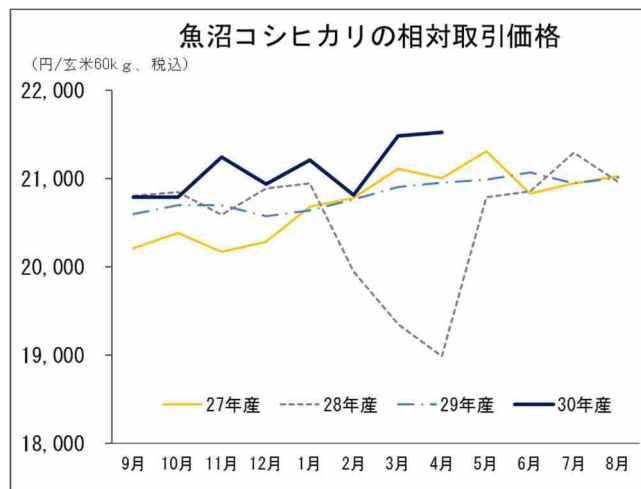
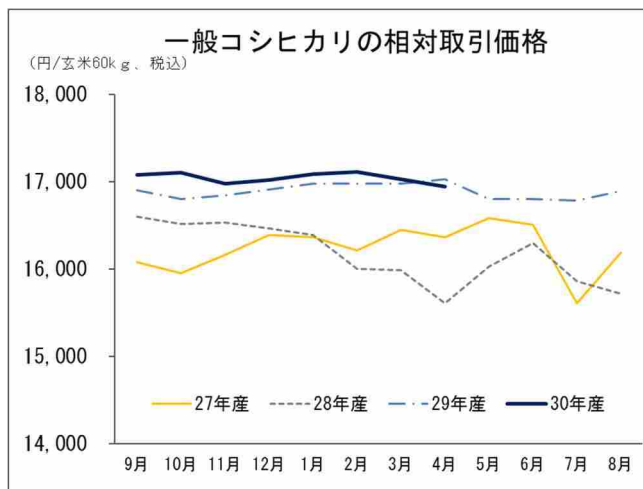
相対取引価格

(1) 一般コシヒカリ

4月の一般コシヒカリの相対取引価格は、前年比0.5%下落し、16,944円(玄米60kg、税込)となっている。

(2) 魚沼コシヒカリ

4月の魚沼コシヒカリの相対取引価格は、前年比2.7%上昇し、21,528円(玄米60kg、税込)となっている。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	16,599	16,517	16,529	16,466	16,390	16,001	15,989	15,607	16,029	16,295	15,856	15,716
	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944				
魚沼 コシヒカリ	28年産	20,803	20,848	20,589	20,893	20,945	19,944	19,354	18,993	20,790	20,858	21,292	20,960
	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,482	21,528				
岩船 コシヒカリ	28年産	17,038	17,037	17,004	16,970	16,955	16,741	16,856	15,465	17,037	16,937	-	-
	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-				
佐渡 コシヒカリ	28年産	17,012	17,046	17,038	16,997	17,042	17,034	16,944	16,463	16,992	16,957	-	17,062
	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-				

資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」



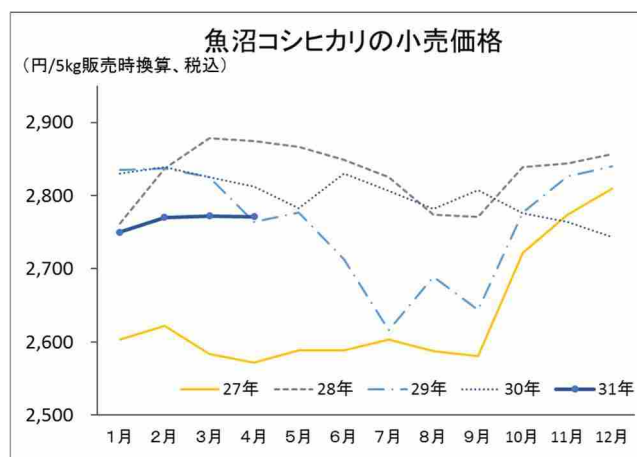
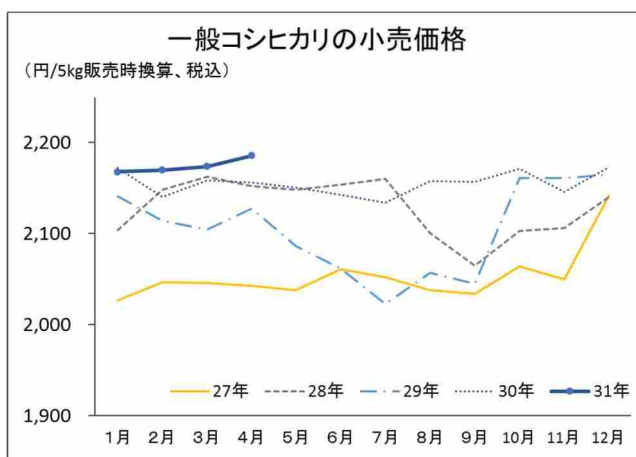
小売価格
(POSデータ)

(1) 一般コシヒカリ

4月の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で1.4%上昇し、2,186円(5kg袋販売時換算、税込)となり、3ヵ月連続前年を上回った。

(2) 魚沼コシヒカリ

4月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で1.5%下落し、2,771円(5kg袋販売時換算、税込)となり、7ヵ月連続で前年を下回っている。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	31年	2,168	2,170	2,174	2,186								
魚沼コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	31年	2,750	2,770	2,772	2,771								
岩船コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	31年	2,244	2,298	2,235	2,276								
佐渡コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	31年	2,262	2,289	2,309	2,305								

資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

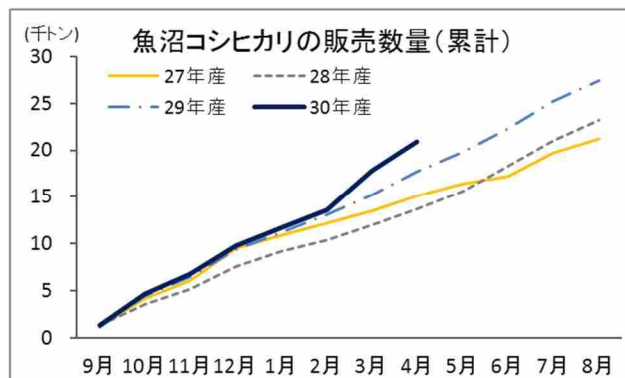
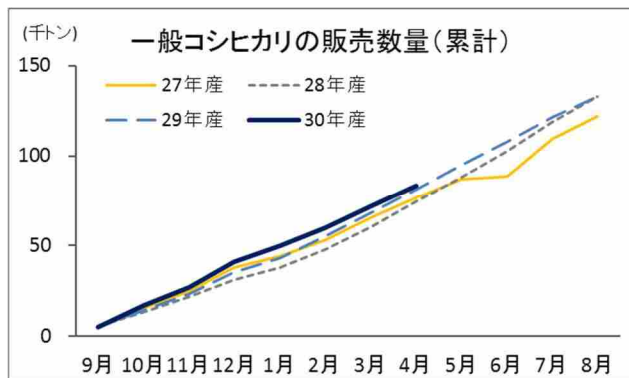
発行元: 新潟県農林水産部農産園芸課

TEL: 025-280-5295

URL: <https://www.niigatamai.info>

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

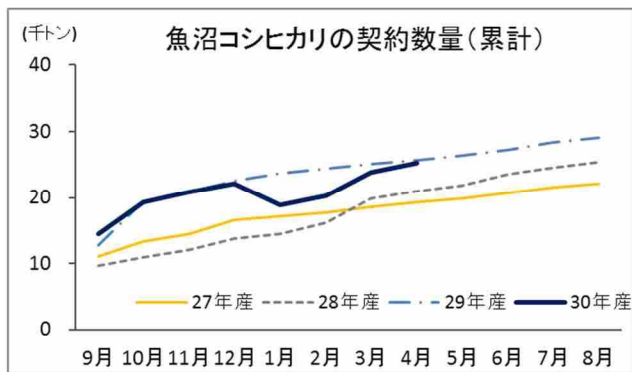
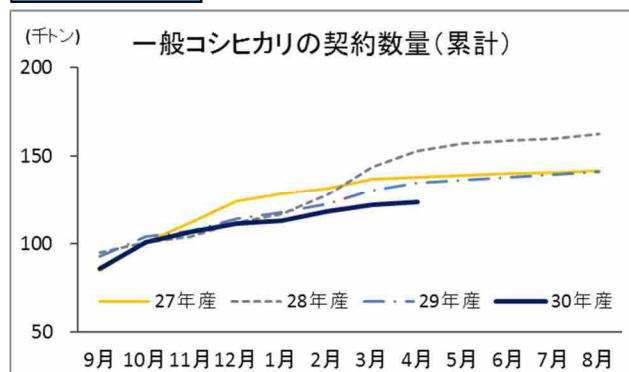
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	5.6	13.7	21.6	31.2	38.1	47.7	60.4	74.7	87.9	102.8	118.6	133.0
	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3				
魚沼 コシヒカリ	28年産	1.3	3.5	5.1	7.6	9.2	10.4	12.0	13.7	15.6	18.3	21.0	23.2
	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9				
岩船 コシヒカリ	28年産	0.5	1.6	2.4	3.3	4.1	5.0	6.2	7.4	8.5	9.5	10.8	12.5
	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9				
佐渡 コシヒカリ	28年産	0.8	2.3	3.3	4.5	5.7	7.1	8.5	9.5	10.8	11.9	12.9	14.0
	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1				

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

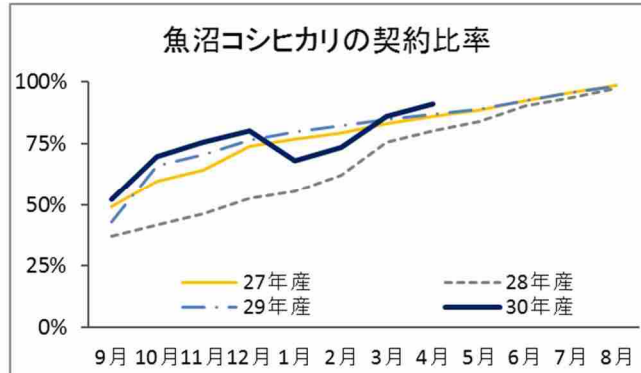
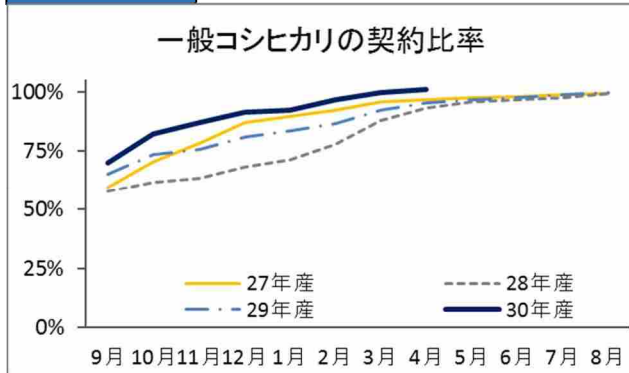
(玄米千トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	94.8	100.7	103.8	112.0	116.6	127.6	143.8	152.7	157.0	158.4	159.8	162.2
	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3				
魚沼 コシヒカリ	28年産	9.7	10.9	12.1	13.7	14.5	16.2	19.8	21.0	21.9	23.6	24.5	25.4
	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2				
岩船 コシヒカリ	28年産	10.1	9.6	10.0	10.6	11.3	11.3	12.6	13.4	13.4	13.4	13.4	13.5
	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4				
佐渡 コシヒカリ	28年産	12.8	12.4	12.7	13.8	14.0	14.1	15.1	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7
	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4				

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



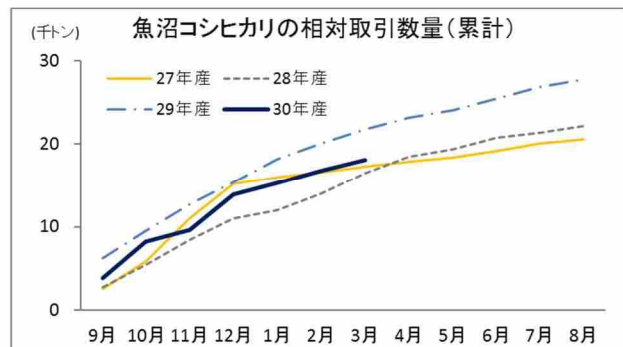
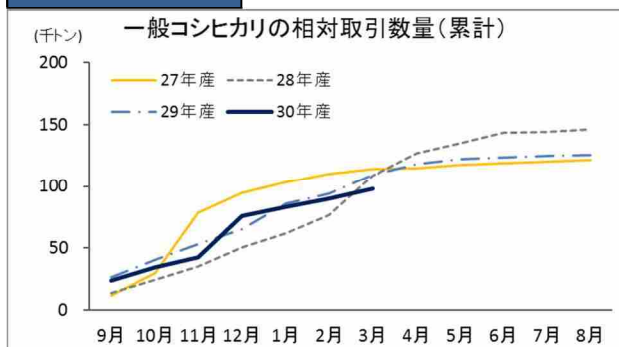
契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	58%	62%	63%	68%	71%	78%	88%	93%	96%	97%	98%	99%
	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	70%	82%	87%	91%	92%	97%	100%	101%				
魚沼 コシヒカリ	28年産	37%	42%	46%	52%	56%	62%	76%	80%	84%	90%	94%	97%
	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	52%	70%	76%	80%	68%	74%	86%	91%				
岩船 コシヒカリ	28年産	75%	71%	74%	79%	84%	84%	93%	99%	99%	99%	99%	100%
	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%	107%	108%	100%				
佐渡 コシヒカリ	28年産	81%	78%	80%	87%	89%	89%	96%	97%	97%	98%	99%	100%
	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	93%	95%	95%	98%	98%	98%	101%	95%				

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成28・29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。平成30年産は、各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後、集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある

相対取引数量



相対取引数量(累計)の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	28年産	13,994	24,600	35,617	50,378	61,929	76,894	108,630	126,727	134,613	143,258	144,322	146,046
	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475	90,377	98,290					
魚沼 コシヒカリ	28年産	2,774	5,394	8,421	10,982	12,048	13,970	16,458	18,482	19,359	20,758	21,411	22,151
	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353	16,786	18,050					
岩船 コシヒカリ	28年産	2,891	3,944	4,827	7,091	8,205	8,387	10,823	11,990	12,225	13,306	13,306	13,306
	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762	9,678	10,833					
佐渡 コシヒカリ	28年産	2,168	3,569	5,302	8,099	9,944	10,517	13,603	14,592	15,186	16,261	16,261	16,421
	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749	9,391	10,549					

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2)相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。